

## 平成 28 年度第 2 回 幹事会報告

平成 28 年 7 月 27 日 (水)  
於：大阪府済生会中津病院  
南棟 2 階第一会議室

### [出席者]

幹事：井上智奈美（三菱京）、寺澤裕子（関労災）、畑美之（阪警察）、松井美抄枝（大労災）、吉原理恵（済中津）  
事務局長：増田徹（藍野大）

### [各部からの報告事項]

#### ■事務局（総務）

1. 第 42 回総会報告の送付  
5 月 29 日（日）付けで、会費請求に関する書類とともに第 42 回総会報告を会員宛に送付した。
2. 医図協総会への臨席について  
5 月 26 日（木）に、ホテルアバローム紀の国で開催された第 87 回日本医学図書館協会総会に増田氏が出席した。
3. ニュースレター  
5 月 27 日（金）ニュースレター No.37 を近図雲上にアップした。
4. MIS34 について  
6 月 11 日（土）13 時より、関西医科大学で開催された MIS34 第 1 回実行委員会に増田氏と寺澤氏が出席した。第 34 回の大会名は大阪枚方大会とし、2017 年 8 月 26 日（土）～27 日（日）に開催する。  
また今年開催された MIS33 長崎大会前日の 7 月 1 日（金）の 17 時 30 分より、会場の長崎市立図書館にて MIS の幹事会が開催され、こちらも増田氏と寺澤氏が出席し、MIS33 の進捗状況や会計報告の後、MIS34 の準備状況を報告した。第 33 回の抄録集に 34 回大会の案内原稿を掲載し、33 回大会において実行委員長の山田先生から次回大会のアピールを行った。
5. 学術情報ソリューションセミナーでの事例報告

サンメディアが主催する学術情報ソリューションセミナーが、6 月 22 日（水）グランフロント大阪のナレッジキャピタル コングレコンベンションセンターにて開催された。寺澤氏が「近畿病院図書館協議会共同リポジトリ事業について」というタイトルで、20 分間の事例報告を行った。

#### 6. 第 10 回交流会開催について

第 1 候補日 9 月 24 日、第二候補日 9 月 11 日で調整する。大阪あるいは神戸で開催予定。開催準備に協力してくれる会員を近図雲で募る（～7 月 28 日）。

#### ■事務局（会計）

1. 会員数・収支（2016 年 7 月 4 日時点）  
会員 114、賛助会員 4、購読会員 43、広告主 4。  
会費収入 259 万円、会費以外の収入 135,614 円、収入計 2,725,614 円。事業費 38,844 円（予算 276 万円）、管理費 499,525 円（予算 6,758,380 円うち予備費 180 万円）、支出計 538,369 円。
2. 請求状況  
会費を請求した（2016 年 5 月 29 日、病図協 16-05 号、同年 8 月末期限）。会費 114 機関中 78 機関が支払い完了。賛助会費は 4 機関が支払い完了。34 巻広告料（4/25 済）と購読会費 34 巻（4/28 済）も支払完了。
3. 会員名簿情報調査  
6 月 2 日～6 月末。会員へは近図雲書庫掲載し、賛助会員へは昨年同様データで送る。

#### ■研修部

1. 第 42 回勉強会（新任者講習会）の開催  
第 42 回勉強会（新任者講習会）を 7 月 23 日（土）12 時 30 分より、淀川キリスト教病院 3 階講義室にて行う。
2. 三図協シンポジウムについて  
三図協シンポジウムの実行委員会が 6 月 23 日（木）、大阪医科大学図書館の図書館館長室・会議室にて開催され、増田氏が病図協担当者として出席した。当日までの準備や、役割分担、当

日の進行などが検討された。テーマは“国内 e-Book について —— プロダクトレビューと展望 ——”で、丸善雄松堂やメテオ、医学書院担当者のプロダクトレビューが主となっている。

### 3. 第 139 回研修会について

第 139 回研修会は、第 128 回研修会以来の見学バスツアーを検討している。前回見学できなかった取次会社大阪屋の関西ブックシティーに、丸善さんを通して打診してもらっている。これが実現できるなら、大阪府立中央図書館と国立国会図書館関西館に大学図書館を見学場所に加えたいと考えている。

## ■会誌編集部

### 1. 原稿の状況

35 巻 1 号は初校締切。未提出分を督促中。

35 巻 2 号は特集の執筆依頼が済んでいる。

36 巻 1 号は事例報告分のみ執筆依頼済み。

### 2. 次回編集会議について

第 1 回編集会議は開催未定。

### 3. MIS での販売

今回は販売しなかった。

## ■統計調査部

### 1. 実データ編の送付について

5 月 29 日（日）、「平成 26 年度 図書室統計調査報告書 実データ編」を、実データ公開可とした 51 施設に送付した。

## ■目録サポートチーム

### 1. 「KITOcat を利用した相互利用の手引き」

東海地区医学図書館協議会が冊子化して当協議会に寄贈していただいた、「KITOcat を利用した相互利用の手引き」を 5 月 29 日（日）付けで、会員に送付した。

## ■ホームページ WG

### 1. 過去カテゴリの削除

幹事会議事録確定後に会員に連絡して削除する。削除作業は寺澤氏が行う。

## 2. 近凶雲利用調査

5 月 30 日～6 月 30 日（毎月曜、計 5 回）に利用調査を送信した。130 アカウントのうち、業者を除いた 23 アカウントが未回答。機関数は 21 機関。未回答アカウントはできる範囲で会員機関へ連絡する。

## ■リポジトリ部

### 1. リポジトリ参加機関数

2016 年 5 月現在、14 機関が参加。

### 2. 発表・講演・執筆など

- 1) 藤原純子（音羽病）、谷口裕美子（八尾）、寺澤裕子（関労災）、増田徹（藍野大）

口頭発表近畿病院図書室協議会共同リポジトリ“KINTORE”の構築。

京都情報図書館学学習会（京都）2016 年 3 月 11 日。

- 2) 近畿病院図書室協議会リポジトリ部。

E1784 —— 近畿病院図書室協議会共同リポジトリ「KINTORE」の構築。『カレントアウェアネス-E』No.301 2016 年 4 月 14 日  
カレントアウェアネス・ポータルにも掲載

- 3) 寺澤裕子（関労災）。第 11 回サンメディアア 学術情報ソリューションセミナー「近畿病院図書室協議会共同リポジトリについて」2016 年 6 月 22 日 大阪

- 4) 増田徹（藍野大）、谷口裕美子（八尾）、寺澤裕子（関労災）。口頭発表：近畿病院図書室協議会共同リポジトリ“KINTORE”：構築から公開へ。第 33 回医学情報サービス研究会長崎大会。2016 年 7 月 3 日 長崎市。

### 3. リポジトリ研修会

近凶雲に書き込み、開催希望があれば実施する。

### 4. 会員のアンケート協力について

アンケートの回答数と合わせてまとめて会員へ報告する。事例報告発表を行う。

[協議・決定事項]

■事務局（総務）

1. JMLA コア研修会参加助成

申請者が1名おり、助成を決めた。

■会誌編集部

1. 一歩すすんだ看護師についてのアンケートの実施

35巻2号の特集記事の一つとして、認定看護師や専門看護師について、会員へアンケートを実施する。Google フォームを使用する。

■目録サポートチーム

1. KITOCat 提供終了について

7月12日に株式会社ナレッジワイヤの大西氏からメールがあり、KITOCatの提供を2年後の2018年3月までとするとの通告があった。新たに同様のweb目録サービスの開発・提供はしない。

提供終了の理由は「エンジニアの年齢による管理運用業務の困難化」「今後発生するプラットフォーム更新への対応で、現在のシステムを存続させるには膨大なメンテナンス作業が必要」となっている。同日大西氏と直接電話で話し、今後協議会として大西氏から説明を受ける予定である。

大西氏は当初サンメディアの一員として目録にかかわっていたことから、幹事会席上でサン

メディアの藤田氏に電話で相談した。いきさつなどについて確認し、後日連絡をいただくことになっている。

■ホームページWG

1. 保守契約更新

保守作業報告書の提出を受けた。部会へは事後報告になるが、前年同様月2時間の保守サービスで更新することで承認を得た。作業のスピードアップを依頼する。

■リポトリ部

1. 会報ならびに会誌「病院図書室」のKINTORE掲載について

創刊号～19巻4号は電子化し近図雲書庫に掲載済み。これらのKINTORE掲載を行いたい。

公告によって著作権許諾を得ることは、幹事会を経て総会で承認済み。「医学図書館」の例にならない、以下の方法で公告を実施する。

2. 公告の方法

ホームページ、近図雲、会誌掲載、OB・OGへはお会いする機会を活用し了解をいただく。会誌への公告は2号程度行う。会員機関へは文書通知は行わない。

3. 電子化助成

昨年と同じ条件で助成し、時期は会報ならびに会誌「病院図書室」KINTORE掲載時期に行う。